



☆YAMAGUCHI☆

あいサポート通信



あいサポーター研修やあいサポート関連イベントなど、あいサポート運動に関する情報をお届けします

元気創出！どこでもトークが実施されました！

令和2年11月22日（日）、山口市小郡地域交流センターにて、知事が県民の皆さんから直接ご意見をお聴きする「元気創出！どこでもトーク」が行われました。参加者は、保育者を目指して学んでいる大学生及び担当教授、障害当事者です。トークテーマは「共生社会の実現に向けた『あいサポート運動』の取組等について」でした。

参加者からのご意見（一部抜粋）

- ★障害のある人を見掛けたら、自分から声を掛けたり、何かできることがあれば手を差し伸べて、自分から手助けをしたい。
- ★人は誰もが何かしら不便だと思ったり、足りない部分があるが、それを否定するのではなく、みんなで助け合うという環境づくりが大切。
- ★障害の特性を短所として捉えるのではなく、プラスに考えられるようになれば、仕事場や教育の現場で隔たりがなくなると思う。
- ★こどもの障害が重い場合、家族がそれを抱え込むようにして生活しないといけない状況があるが、障害があってもなくても、こどもはこどもの、親は親の人生を生きていける、そんな社会になってほしい。
- ★障害のある人もない人も、互いに何かできることがあるということで、自分に自信を持つことができる。誰かの役に立てたと喜んだことは、その人が生きていくエネルギーの1つにつながっていくと思う。
- ★失敗を経験しても、本人がそれを受け止められるように寄り添う支援が必要だと思う。

また、学生から障害当事者へ「どのような声掛けをすれば良いか」との質問に「（視覚障害に関して）障害がある人が不安そうなら、できれば声をかけてほしい。逆に声をかけられたら、聞いてほしい。その一声が命を救う場合もある。」と答えていただく場面もありました。



ユニバーサルデザインの例として点字絵本をご紹介いただきました（2段目左写真）。点字とひらがなの両方が記載されているので、障害のあることもないことも互いに「これが●●」と教えあうこともできます。

キッズあつまれ あいサポらんどを開催しました！

「どこでもトーク」の前には、「キッズあつまれ あいサポらんど」を開催しました。このイベントは、若い世代へのあいサポート運動の普及啓発として、昨年度から実施しています。

今年度も、障害のある、ないに関わらず、すべての子どもがともに楽しめる企画として、「あいサポート企業・団体」である山口学芸大学（山口市）教育学部の学生に企画・運営いただきました。



今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を減らし、イベント中も随時手指消毒にご協力いただきながらの開催となりました。

オーガンジーを使ったわらべうた遊び（1段目左写真）、大型絵本による絵本シアター（1段目右写真）に手話歌（2段目左写真）など、障害のある、ないに関わらず、参加者全員が楽しめる内容でした。遊びコーナーには、学生力作の大型的あてゲーム（2段目右写真）もありました。

本イベントが、参加者にとっても企画・運営に携わった学生にとっても、自然な形で障害を受け入れるきっかけになれば幸いです。

*****あいサポート運動の取組状況*****

	全国	山口県
あいサポーター数	558,493人	26,116人
あいサポート企業・団体数	2,173	220

※R3.1月末現在

新たに8の企業・団体が『あいサポート企業・団体』に認定されました！

山口県信用農業協同組合連合会、(株) Alpha BEE、平生町、柳井市、上関町、
 (特非) felice、(特非) 周南さわやか会 さわやか工房、萩市手をつなぐ育成会
 (認定番号順/令和2年9月～令和3年1月)

編集・発行：学校法人YIC学院（山口県「あいサポート運動」推進事業受託事業者）
 TEL：083-976-8355 FAX：083-976-8357 E-mail：cc-info@yic.ac.jp